

長久手市行政評価票

事業番号	116	事業の名称	適応指導教室事務		担当部署	部	課					
						教育部	教育総務課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(2)教育内容の充実	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し、学校への復帰を支援するとともに、相談活動等を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	ほとんどの自治体で実施						
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	———	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の学校に通学する小中学生					うち	一般財源	5,332	4,774	5,749	5,642	6,986
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	学校へ復帰してもらう。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績			H26予算	H26決算			
① 適応指導教室事務	長久手市立の学校に通学する小中学生に	随時				不登校児童生徒の学校への復帰人数	1	人	不登校児童生徒の学校への復帰が事業の最大の目的であるため。 H26 入級者 8名	5,332	4,774	適応指導教室指導員報酬 4,569 相談報償金 345 消耗品費 507 通信運搬費 143 備品購入費 34	A	不登校の児童生徒の指導のために必要であるため、現行どおり実施していく。	
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	